Green Brave 10th Anniversary

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT

AUTOBACS SUPER GT 2022 SERIES

Round 6

SUGO GT300km RACE

2022年9月17日（土）～18日（日） スポーツランドSUGO（宮城県村田町）

■ ■ ■予選７位の好位置からスタートするも天気に翻弄され 18 位■ ■ ■

決勝結果（GT300）

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT

（吉田広樹／川合孝汰）

決勝：18 位（75 周、1 時間 59 分 15 秒 772）

予選：7 位（1 分 18 秒 220）

予選日（土曜日）の天候は曇。95 分間の公式練習は 9 時 25 分から行われ、吉田選手が最初にコースイン。1 回のピットインを挟み、硬さの異なるタイヤの感触をチェックします。約 40 分走行後、川合選手に交代。セッション後半にピットインを繰り返し、車体のバランスを調整します。ベストタイムは川合選手がマークした 1 分 19 秒 617（17 位）。第 4 戦から続いた空力パーツの問題は対策済みで、Q1 突破の期待が高まります。予選は 14 時 30 分から行われ、GR Supra GT は A 組に出場。ドライバーは吉田選手です。吉田選手は予選開始と同時にコースイン。4 周目に 1 分 19 秒 043 をマークし、6 位につけますが、ライバルに抜かれる可能性があるため、アタックを継続。翌周に 1 分 19 秒 002 をマークし、8 位で Q2 進出を決めました。Q2 は 15 時 23 分から行われ、川合選手がコースイン。川合選手は前車との間隔を調整し、4 周目にアタックを行います。最終コーナーでタイムをロスしたものの、午前中のベストタイムを大幅に短縮する 1 分 18 秒 220 をマーク。8 位に入り、2 戦ぶりの Q2 進出を果たしました。レース後、上位のクルマにペナルティが与えられたため、正式結果は 7 位。GR Supra GT がトップ 10 圏内からスタートするのは第 2 戦以来です。

決勝日（日曜日）の天候は曇。チームはタイヤ無交換を前提とした 1 ストップ作戦を立てましたが、コースイン直前に降り始めた雨により、予想もしない展開となります。雨量が少なかったため、川合選手はドライタイヤを履いてスタート。序盤は 7 位を走行しますが、14 周目に突然本降りとなり、すぐにピットへ。給油とレインタイヤに交換し、ピットアウト。川合選手は 15 位でレースに復帰します。チームは雨が降り続くことを前提にタイヤの種類を選びましたが、予想に反して雨は小康状態。川合選手のペースは伸び悩みます。それでも 6 位まで順位を上げ、34 周目の終わりにピットへ。吉田選手に交代し、給油とタイヤ交換を実施します。タイヤ交換時に機材のトラブルが発生し、大きくタイムロス。吉田選手の順位は 13 位となります。最初のピットイン時と異なるレインタイヤを装着しており、吉田選手のペースは良好。全体の中でも最速に近い、1 分 28～29 秒台のペースで周回します。しかし、40 周過ぎにまたも雨が上がります。吉田選手はペースダウンを余儀なくされ、8 位走行中の 47 周目の終わりにピットイン。今度はドライタイヤに交換し、レースに復帰します。吉田選手は 12 位を走行しますが、濡れた路面に足をとられ、55 周目にスピン。再スタートをきることができましたが、14 位まで後退します。遅れを取り戻そうとプッシュする吉田選手ですが、終盤に雨が降り始め、68 周目の終わりに 4 回目のピットイン。レインタイヤに交換し、レースに復帰します。吉田選手は 18 位でチェッカー。優勝は予選 13 位からスタートした#2GR86 で、天候に合ったタイヤを選択し、ピット回数を 2 回におさえたチームが上位に名を連ねました。次戦は GR Supra GT が得意とするオートポリス。吉田、川合両選手の本領発揮に期待です。

©2022 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

DRIVERS VOICE

吉田広樹 選手

（予選後）アタック自体に大きなミスはなく、そこそこ満足しています。本当は1〜2周目でタイヤを温めて、3〜4周目でいくはずだったのですが、3周目のアタック中に他のクルマにひっかかってしまいました。そのままアタックを継続したのですが、タイヤを使うだけになってしまったので、4〜5周目に集中すれば、タイムはもっと上がったと思います。久しぶりにリスクの少ない前の方からスタートできますが、後ろには FIA-GT3 勢が多いので、1〜2 周目の間にポジションをキープできればと思っています。

（決勝後）天候を含め、本当に難しいレースでした。他よりピットインの回数が多くなってしまったのですが、タイヤ選択は天候次第でした。雨が降っていればとか、乾いていればという話はありますが、そこは結果論なので仕方ないと思います。個人的には自分のスティントをしっかり走りきることが仕事だと思うので、スピンしてしまったことが申し訳なかったです。チャンピオン争いという面では厳しくなってしまったのですが、応援してくれているみなさんに喜んでもらいたいです。残り2戦、厳しい戦いになるとは思いますが、優勝目指して頑張りたいと思います。

川合孝汰 選手

（予選後）3周目にアタックしようと思っていたのですが、前車と間隔があったので、もう1周タイヤを温め、翌周にアタックしました。グリップ感と温め方が良かったようで、最終コーナーまでまとまっていたのですが、欲をかいてしまいました。アンダーステアを出してしまい、取りこぼしてしまいました。もう少し前の順位がとれるかなと思っていたので、悔いの残る予選でした。明日は前のクルマを抜きたいところですが、タイヤを守っていく方向でもあるので、最低限ポジションをキープして、チャンスがあったら抜きたいと思います。

（決勝後）不運なレースが続いていますが、これもレースですね。ウエットレースを経験できたのはポジティブでしたが、結果がついてこなかったので、そこは残念だと思います。スタート直後、前の25号車を抜こうといろいろ試してみたのですが、チャンスは最終コーナーから1コーナーまでしかなく、こちらのクルマは重く、タイヤ無交換が前提だったので、無理することはできませんでした。急に雨が強くなった時、チームがピットに戻ってくる判断をすぐにしてくれたので、ロスなく戻ることができました。く早く前に出たいと思っていたのですが、ついていけなかったですね。

GT300 決勝結果

順位	車名（車両）	周回数
1位	muta Racing GR86 GT（トヨタ GR86 GT）	79周
2位	GAINER TANAX GT-R（日産 GT-R NISMO GT3）	78周
3位	TANAX GAINER GT-R（日産 GT-R NISMO GT3）	78周
4位	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R（日産 GT-R NISMO GT3）	78周
5位	Studie BMW M4（BMW M4 GT3）	78周
6位	LEON PYRAMID AMG（メルセデス AMG GT3）	78周
18位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT（トヨタ GR Supra GT）	75周

天候：曇／雨 路面：ドライ／ウエット ※トップ6まで（出走27台）

チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	56	KONDO RACING	62.5
2位	10	GAINER	55.5
3位	11	GAINER	48.5
4位	61	R&D SPORT	47
5位	2	muta Racing INGING	39
6位	4	GOODSMILE RACING & Team UKYO	38.5
10位	52	埼玉トヨペット Green Brave	29.5

※トップ6まで

PARTNERS

アルパインマーケティング株式会社

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

埼群スリーボンド株式会社

株式会社西武ライオンズ

大和ラヂエーター工業株式会社

株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY

株式会社ドーム

株式会社日本ヴューテック

Mechanix Wear LLC

第7戦は 10月1日〜2日 オートポリス（大分県）

©2022 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.